

令和3年度第1回芽室町総合計画審議会・第1回専門部会 議事録

令和3年7月30日（金）18:30～19:50

めむろービ2階セミナーホール

《参加者》

審議会出席委員（15名）

貫田会長、明瀬副会長、廣江副会長、岡田委員、小椋委員、小池委員、小林委員、白銀委員、珠玖委員、鈴木（昇）委員、高道委員、鳥本委員、林委員、松山委員、南館委員

専門部会出席委員（15名）

大塚委員、岡田委員、片桐委員、児玉委員、小林委員、須崎委員、鈴木（智）委員、須藤委員、高橋（圭）委員、高橋（仁）委員、高橋（広）委員、高橋（好）委員、西村委員、花岡委員、山田委員

専門部会欠席委員（5名）

黒田委員、坂本委員、櫻井委員、佐藤委員、嶋野委員

事務局

手島町長、石田政策推進課長、佐々木補佐、村上主任、佐藤主事、角屋主事

《内容》

1 開会

2 手島町長挨拶

3 委嘱状交付

4 総合計画及び施策評価について

政策推進課長：それでは、総合計画及び施策評価について事務局から説明する。

事務局：資料に基づき説明。

政策推進課長：ただ今の説明について質問等はないか。

委員：（質問なし）

5 議事

政策推進課長：続いて議案の5番、会長及び副会長の選出に入りたい。資料3ページを

ご覧いただきたい。芽室町総合計画審議会条例では会長1名、副会長2名、選出は委員の互選となっている。委員の皆さんから推薦はないか。

委員：さまざまな委員をやられ、広い視野をお持ちの貫田正博委員を会長に、明瀬禎純委員と廣江英幸委員を副会長に推薦する。

政策推進課長：ただ今委員から推薦があったが、いかがか。

委員：（異議なし）

政策推進課長：では、会長は貫田正博委員、副会長は明瀬禎純委員、廣江英幸委員にお願いする。なお、専門部会の部会長及びグループ長については、8月4日の合同専門部会で決定させていただく。ここで、会長から挨拶をお願いしたい。

会長：会長になりました貫田です。よろしくお願ひします。

政策推進課長：条例第5条3項により、会長が会議の議長を務めることとなっておりますので、ここからの進行は貫田会長にお願いする。

会長：それでは議案6番、特別講話に移る。本日は、北海道大学教授の山崎幹根様にお越しいただいている。山崎様、よろしくお願ひします。

6 特別講話

北海道大学公共政策大学院山崎幹根教授から、資料に基づき講演が行われました。

◎はじめに

- ・外部評価をする意味とは。事務局の説明でもあったように、PDCAという言葉があるが、行政はPには力を入れるし、世論もマスメディアも関心を向けていますが、その後の成果については関心が向けられていないことが多い。だからこそ、やると決めたことを追跡してチェックするということが大事。
- ・毎年審議会を開いて点検・評価をしているということは素晴らしい。芽室町は住民の皆さんと総合計画を手作りで作って、その手作りの総合計画を、毎年チェックしている。実はこうしたことを十数年間やっている地方自治体は全道・全国でもほとんどない。また、言いっぱなし、聞きっぱなしではなく、預かった意見を担当部局にぶつけてフィードバックしている自治体はない。良き伝統である。
- ・住民の皆さんとの目が重要。役場内部でマネジメントシートにより自己評価している上に、なぜ住民の皆さんにも評価していただくかということだが、行政の自己評価は甘くなりがち。そして自己評価だけをずっと続けているとマンネリ化してくる。そういうことの内容に、外の方の目を入れて緊張感をもってやっていくということが大きな意味。
- ・評価の仕方については絶対的・客観的な評価の方法・基準が確立しているわけではないため、ベストな方法はなくベターな方法で、みんなで議論することが大切である。

◎施策評価のアプローチ

- ・評価をするときの視点は、①普通の町民（生活者）の視点、②民間（納税者）の視点、③自治の担い手、協働の担い手としての視点の3つの視点を持つことが重要。気になることはどんどん質問して、色々な疑問・問題点を洗い出していってほしい。

◎評価シートの読み解き方

- ・評価シートの読み解き方のポイントについて。要因を考えることが大事。なぜ指標が下がったのか、なぜ上がったのか、目標値が達成されているか、なぜ未達成なのか、「その要因は何か」を考えることが重要である。
- ・評価シートの読み解き方の他の視点としては、時系列での比較、類似自治体や近隣自治体との比較、国全体の政策や社会的変動などがあるか、住民の側から考慮すべき点があるかなどを併せて考える必要がある。

◎はじめの手がかりとして

- ・まずは分からぬことや不明点はなんでも聞いてみてほしい。一町民の立場から遠慮なく意見を出していい。議員さんは選挙で選ばれた代表で、代表としての役割や責任があるが、皆さん方は議員さんではないので日々の生活者として、暮らしや仕事での知見を大事にしてほしい。
- ・（審議会での）コメントは厳しい言い方になっても大丈夫。職員は日々厳しく言われたり追及されること慣れている。しいて言うならぜひ建設的な批判を。
- ・審議会参加にあたって、特段の準備は必要ないが、可能であれば（広報誌）すまいるを見ていただいたり、町の公式HPに目を通しておくと施策のイメージを持ちやすくなる。

◎デモンストレーション

施策マネジメントシート「徹底した情報共有と町民参加の促進」を例に、シート作成の主管課長である政策推進課長との間で質疑のデモンストレーションが行われた。

- ・事業費とはどういうお金なのか？
- ・人工という言葉の意味は？
- ・コロナ禍における町民参加の取り組みをどうとらえているか？など。

会長：山崎先生、ありがとうございました。ただいまの講話について質問のある方は。
委員：（質問なし）

会長：それでは「その他」として、事務局から説明をお願いする。

事務局：資料1、資料2に基づいて、今後のスケジュールと芽室町総合計画の策定と運用に関する条例等について説明。

会長：ただいまの説明について、または全体を通して質問等はないか。

委員：（質問なし）

貫田会長：質問がなければ、以上で閉会とする。お疲れ様でした。

19:50　閉会